

高台だより

ふれあい都市
高台美談雑誌
23年5月号
No.304
発行責任者
栗原千秋
会員308世帯
全362世帯
ホームページは
高台ドットコム
自治会設立
昭和61年4月
手をつなごう
高台自治会で

ゴミゼロ運動は5月29日(日) 公園清掃は6月5日(日)です

高台地区の「ゴミゼロ運動」が、5月29日(日)雨天決行(に)行われます。ゴミゼロ運動とは、ゴミを少なくし資源を再利用することを目的とし、この時期全国的に行われています。「混ぜればゴミ、分ければ資源」の標語もあるように、「ゴミ」から使えるものを分けて循環型社会を推進していく必要があります。高台地区は、高台の「ゴミゼロ運動」は、周辺の道路などの大掃除をしたいと思います。29日10時に2号公園に集まっています。皆さんでバス通りの歩道・暗渠などを掃除したいと思います。ゴミ袋は用意してあります。軍手やゴミバサミなどをお持ちください。



昨年の公園除草

今年の公園除草は、6月5日(日)・小雨決行(に)10時から、2号から5号公園で行われます。これは高台自治会が市からの委託を受けて、毎年春と秋に行っているものです。軍手などをお持ちいただき、私たちの公園を美しくしてくださいと思います。各ブロックの割り当てとリーダーは下表のようになっていきます。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

	2号公園	3号公園	4号公園	5号公園
担当	1~6	10~	16~	3, 7
ブロック	(3除く)	15	21	8, 9
リーダー	鶴田さん	梶さん	海野さん	中西さん

す。そのまま入れたため風で飛び散る苦情が出ていますのでご協力ください。

【その他】

●自治会費

自治会費上半期分(1800円)をお願いします。担当のブロック委員が今月末までにお伺いしますのでお渡しいただけます。お返しのお願いです。

●緑の募金

今年の「緑の募金」については、皆さんから集めるのではなく、まとめて自治会の予算から一万円を拠出しました(緑の募金は森の保全や砂漠化防止、森を守る人材育成などに使われます)。

【入会・訃報等】

今月はあつめさせ

【美化衛生】
資源類分別収集に関するお願いです。現在A類(缶類等)は第2・4水曜日、B類(ビン類等)は第1・3水曜日に出していただいています。プラスチックはA類B類どちらの日でも構いませんが、その出し方についてお願いがあります。トレイ・ラップ・ポリ袋・発泡スチロールなどのプラスチックは必ず透明の袋に入れて出していただくようお願いいたします。



トレイ皿

「パソコン初級教室」開催

今回の「パソコン初級教室」は「文書作成」を3日間で行います。手紙・資料・自分史などを作るときに必要な、ワードを用いた文書作成です。文書作成以外のことも希望に合わせて説明します。5台のパソコンを準備していますが、ノート型をお持ちの方は持参ください。
●5月30日(月)~6月1日(水)午後7時~9時 高台集会所
●申込みは高台ドットコム (<http://www.taka-dai.com/>) からメールまたは075-956-1976(後藤)
●受講は無料です



前回の教室

記念事業計画が進んでいます

高台自治会が昭和61年に設立されてから今年で50年の節目を迎えます。それを記念して、先日の総会で構想と予算を承認いただいたものに基づいて、新事業の計画が進んでいます。大きくは①記念物の設置 ②記念物の配布 ③記念行事の実施の3本柱です。①については枝垂れつばらの記念植樹・記念碑建立・備品の整備などです。②については記念冊子の発行・記念品の贈呈などです。③については今年の夏祭りを記念行事と位置づけ各種イベント実施などです。さらにはまた案の段階で、皆さんの意見を入れて記念に残るものにしていきたいと思っています。

何かアイデアがありましたらご提案をお願いします。また記念冊子の記事になるような高台地区・高台自治会・高台住民に関する思い出・写真・物品などがありませんか?ご提供いただけませんか? (取材にお伺いするところもあります)。



記念物の設置
記念物の配布
記念行事の実施

開発計画を検討しています

「大山崎鳥居前宅地開発」について、先日4回目の話し合いがありました。開発面積約1万坪、可住宅125区画で、着工後1.5年で完成する計画です(着工時期未定)。この計画について、大要は入山崎に関するものですが高台地区への影響も少なからずあると思われるので、業者が次の問題について申入れをしています。①高台の生活道路を車両が出入りする問題 ②擁壁(土留め)のための壁の高制限の問題 ③雨水排水計画に不備がある問題 ④防災マップにある急斜面に造成する点です。これからも、特に近接する住民の皆さんと共に自治会としても対処していきたいと思っています。

お知らせ

自治会の役員、部会リーダー、外郭団体役員は既に決まっていますが、今回ブロック委員の皆さんが、防犯防災・美化衛生・福祉・スポーツ・集会所の各部会の役割に属していただくための話し合いが行われ、それぞれの担当が決まりました。ブロック委員としてブロックのお世話をさせていただきます。各部署でも活躍いただきたいと思います。

グランドゴルフ大会

「グランドゴルフ大会」が、6月5日(日、雨天中止)午前9時から長五小で行われます。グランドゴルフは、ゴルフに似たスポーツで誰でも簡単にできるものとして人気があります。高台地区は毎年参加して好成績を修めています。皆さんの応援をお願いします。試合に参加ご希望の方はスポーツ担当の小島さん(956-2721)までお願いします。



オトナリとんの地り口

2丁目(303) 田中茂利さん



私の出身は信州(信濃)長野野島である。この地の最も適切な紹介は、信州が生んだ江戸期の俳人、小林一茶の句「信濃では月と仏とおらが蕎麦」であろう。この句の月は名勝姨捨の「田毎の月」をいっている。JR中央線姨捨駅近くの斜面に拓ける多くの小さな田(棚田)の二つ二つに満月が映し出され、閑雅で幽玄な世界に万人は魅了される。第二の仏は善光寺である。聖徳太子の時代、仏教をめぐって政争の中で難波の堀江に捨てられていた仏像を、本田善光が拾い上げ信州までお連れしてお祭りした。弥陀の浄土に憧れ一生に一度は参拝したいと、全国から善男善女が集まる。第三の蕎麦は美味で口当たりのよい信州(更科)蕎麦である。この地では自分の事を「おら」といって、おらが蕎麦、は郷里の自慢と誇りを喧伝している。この様な気分を一語で的確に表したのは流石に「一茶」の名詞たる所以であろう。私が京都に来た昔、出身地を信州上田と答えても誰もが首を傾げた。ところが小諸の近くへついで参ると上田点して羨んだ。文学詩歌に憧れた時代で島崎藤村の「小諸なる古城のほとり、雲田へ遊子悲しむ諸なる古城のほとり、雲田へ遊子悲しむ……」の秀歌を誰もが口ずかす。千曲川と浅間山を羨ましがった。星雲移って現在、小諸と言っても知る人は少なくなつた。今は戦国時代に上田城で智略謀略の限りを尽くして徳川の軍を二度にわたって撃破し、大坂落城の折にも大奮闘した真田幸村の居城として有名である。上田駅前には六文銭の旗指物を摩かせる馬上豊かな幸村の像が親しまれている。(田中茂利さんは、「一茶」記念賞を受賞された物理学者で、大学を教壇にいらす)



田毎の月